

令和3年人口動態結果報告書

令和4年2月

長野市企画政策部企画課

目 次

	ページ
はじめに	1
利用上の注意	1
1 主な用語の解説	1
2 報告書中の表記方法	2
3 報告書中の算出方法	3
4 その他	4
結果の概要	5
1 人口及び世帯の概況	5
(1) 年次別人口及び世帯	5
(2) 年齢構成(年齢3区分別人口)	6
2 年次別人口動態(概略)	7
(1) 令和3年の状況	7
3 年次別人口動態(自然動態)	7
(1) 自然動態の内訳及び推移	7
4 年次別人口動態(社会動態)	8
(1) 社会動態の内訳及び推移	8
(2) 人口移動の傾向	10
5 地区別の概況	14
(1) 人口及び世帯	14
(2) 自然動態	18
(3) 社会動態	20
参考(関係法令)	22

はじめに

この報告書は、令和3年中（令和3年1月1日～令和3年12月31日）の本市における出生・死亡・転入・転出等を要因とする人口動態結果に基づき、人口、世帯数及び人口移動状況の把握等、各種行政施策への基礎資料の提供を目的として編集したものです。

なお、ここに公表している内容に関しては、本市の人口動態の事象・推移等を明らかにするため、市独自で集計を行ったものですので、厚生労働省の人口動態結果等とは違う場合があります。

利用上の注意

1 主な用語の解説

(1) 人口

当該年（1月1日～12月31日）における「住民基本台帳」に記載された人口

(2) 世帯（数）

当該年（1月1日～12月31日）における「住民基本台帳」に記載された世帯の数

(3) 自然動態

一定期間（1月1日～12月31日）における出生・死亡を要因とする人口の動態

- 出生者：戸籍法第49条の規定に基づく出生届、または住民基本台帳法第9条第2項の規定に基づき、他の市町村長から送付を受けた通知により、住民票に記載された者
- 死亡者：戸籍法第86条の規定に基づく死亡届、または住民基本台帳法第9条第2項の規定に基づき、他の市町村長から送付を受けた通知により、住民票から消除された者

(4) 社会動態

一定期間（1月1日～12月31日）における転入・転出を要因とする人口の動態。なお、同一市町村間の住所変更である「転居」及び住所移動を伴わない国籍の得喪（「帰化」等）は含みません。

- 転入者：住民基本台帳法第22条、第30条の46または第30条の47の規定に基づく転入届により住民票に記載された者
- 転出者：住民基本台帳法第24条の規定に基づく転出届、または同法第9条第1項の規定に基づき、新住所地の市町村長から送付を受けた通知により、住民票から消除された者

(5) 人口動態

自然動態と社会動態を合わせた人口の動態〔人口動態＝自然動態＋社会動態〕

(6) 年齢3区分別人口

年少人口(0～14歳)、生産年齢人口(15～64歳)、老年人口(65歳以上)の3区分からなる人口構成

(7) 合計特殊出生率

15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したものであり、1人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子供の数を示す指標

2 報告書中の表記方法（記号・単位等）

「年次」	歴年(当該年1月～12月)
「%(パーセント)」	百分率(100分の1)を表す単位記号
「‰(パーミル)」	千分率(1000分の1)を表す単位記号〔* 1‰=0.1%〕
「km ² (平方キロメートル)」	面積を表す単位記号〔* 1km ² =1辺の長さ1kmの正方形面積〕
「△」	数値が負数のもの(数値の前に付す)
「—」	実数値が得られないもの
「…」	数値の得られないもの

※ 整数値未満の数値がある場合には、少数点以下第2位で四捨五入を行い、少数点以下第1位の数値で表記しています。なお、このことで、総数・内訳等が一致しない場合があります。

3 報告書中の算出方法

$$\text{人口増減率(‰)} = \frac{\text{年間人口増減数} \times 1,000}{\text{前年人口}}$$

$$\text{人口密度(人/km}^2\text{)} = \frac{\text{当該年人口}}{\text{市域総面積}}$$

$$\text{出生率(‰)} = \frac{\text{出生総数} \times 1,000}{\text{当該年人口}}$$

$$\text{死亡率(‰)} = \frac{\text{死亡総数} \times 1,000}{\text{当該年人口}}$$

$$\text{自然増減率(‰)} = \frac{(\text{出生総数} - \text{死亡総数}) \times 1,000}{\text{当該年人口}}$$

$$\text{転入率(‰)} = \frac{\text{転入総数} \times 1,000}{\text{当該年人口}}$$

$$\text{転出率(‰)} = \frac{\text{転出総数} \times 1,000}{\text{当該年人口}}$$

$$\text{社会増減率(‰)} = \frac{(\text{転入総数} - \text{転出総数}) \times 1,000}{\text{当該年人口}}$$

$$\text{合計特殊出生率} = \left[\frac{\text{年間の母の5歳階級別出生数} \times 5}{\text{10月1日現在の5歳階級別女性人口}} \right] \text{の15歳から49歳までの合計}$$

4 その他

(1) その他増減について

自然動態・社会動態とは別とする人口増減(主なもの:職権記載・職権回復・職権消除)については、その他増減として一括して集計を行っています。また、当該集計は、社会動態の項に記載をしていますが、その数値は社会増減率算出の基礎数値に含まれておりません。

(2) 市域面積について

本市は、平成 17 年 1 月 1 日に、旧上水内郡豊野町・戸隠村・鬼無里村、旧更級郡大岡村と合併を行い、市域面積が 738.51 km² となりましたが、平成 21 年 1 月 1 日に、合併前から一部未画定であった北安曇郡白馬村と旧上水内郡鬼無里村の境界が画定したため、市域面積を 730.83 km² に改訂いたしました。

また、平成 22 年 1 月 1 日に、旧上水内郡信州新町・中条村と合併を行い、市域面積が 104.02 km² 増加し、834.85 km² となりました。その後、計測方法の一部変更により精度が向上したため、平成 26 年 10 月 1 日に市域面積を 834.81 km² に改定いたしました。

(3) 合計特殊出生率について

算出に使用した女性人口は、令和 2 年次は総務省統計局が公表している、国勢調査における不詳補完値人口、その他の年次は長野県企画振興部が公表している、国勢調査に基づく推計人口(10 月 1 日現在)の年齢不詳を按分補正した人口です。出生数は厚生労働省が公表している、人口動態調査による母の 5 歳階級別出生数であり、本誌に掲載している出生数とは数値が異なります。

結果の概要

1 人口及び世帯の概況

(1) 年次別人口及び世帯

令和4年1月1日現在の本市の総人口は371,600人で、このうち男性は180,288人(48.5%)、女性は191,312人(51.5%)で、男性と比較すると、女性が11,024人多くなっています。

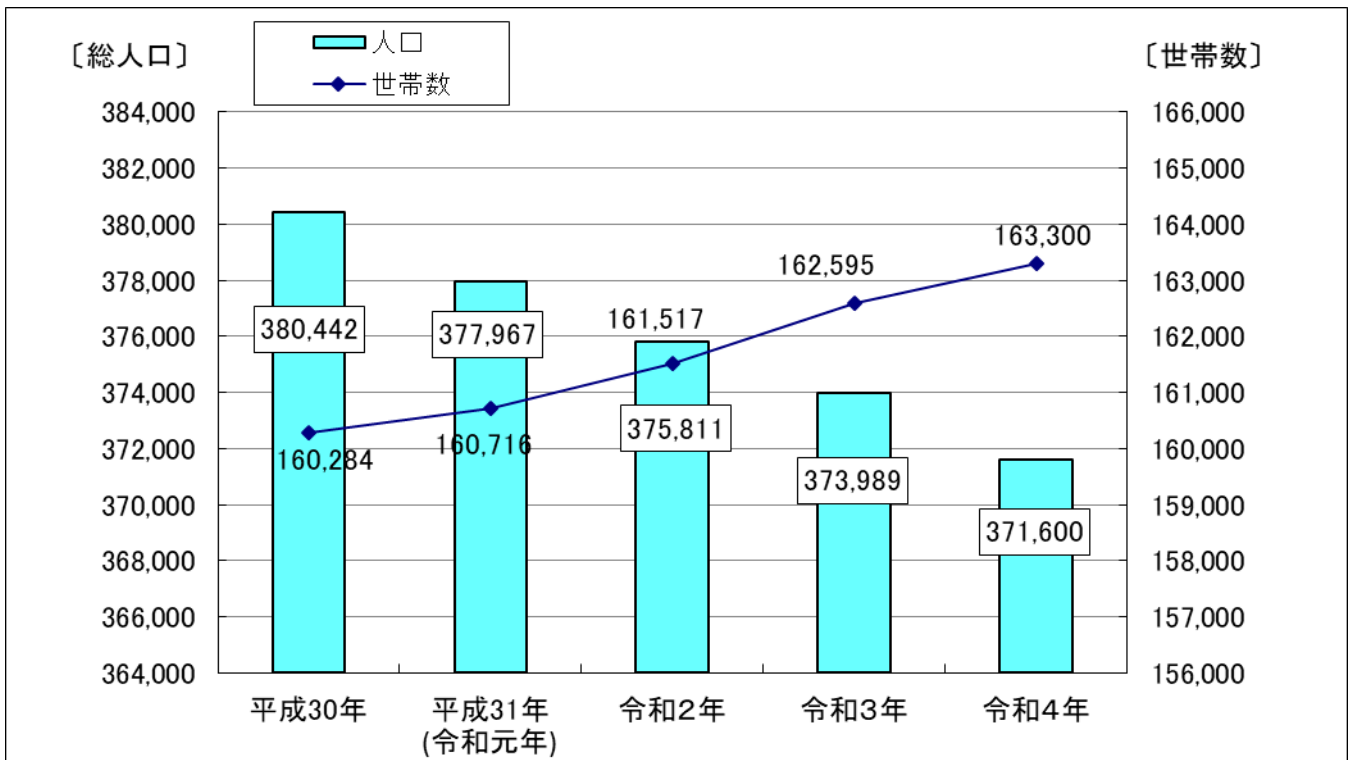
前年と比較すると、総人口は2,389人、男性は1,089人、女性は1,300人それぞれ減少し、世帯は705世帯増加しました。1世帯当たりの人員は、2.3人となり、前年と同じでした。

また、人口密度は、445.1人/km²で、2.9人/km²減少しました。

表1：年次別人口及び世帯数

年次	1月1日現在 総人口(人)	男性 (人)	女性 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)	世帯 (世帯)	1世帯当たり 人員(人)
平成30年	380,442	184,271	196,171	834.81	455.7	160,284	2.4
平成31年 (令和元年)	377,967	183,069	194,898	834.81	452.8	160,716	2.4
令和2年	375,811	182,229	193,582	834.81	450.2	161,517	2.3
令和3年	373,989	181,377	192,612	834.81	448.0	162,595	2.3
令和4年	371,600	180,288	191,312	834.81	445.1	163,300	2.3

[グラフ1] 人口及び世帯数の推移



(2) 年齢構成（年齢3区分別人口）

令和4年1月1日現在の年齢3区分別人口は、年少人口(0～14歳)が44,674人(構成比12.0%)、生産年齢人口(15～64歳)が214,790人(構成比57.8%)、老年人口(65歳以上)が112,136人(構成比30.2%)となりました。

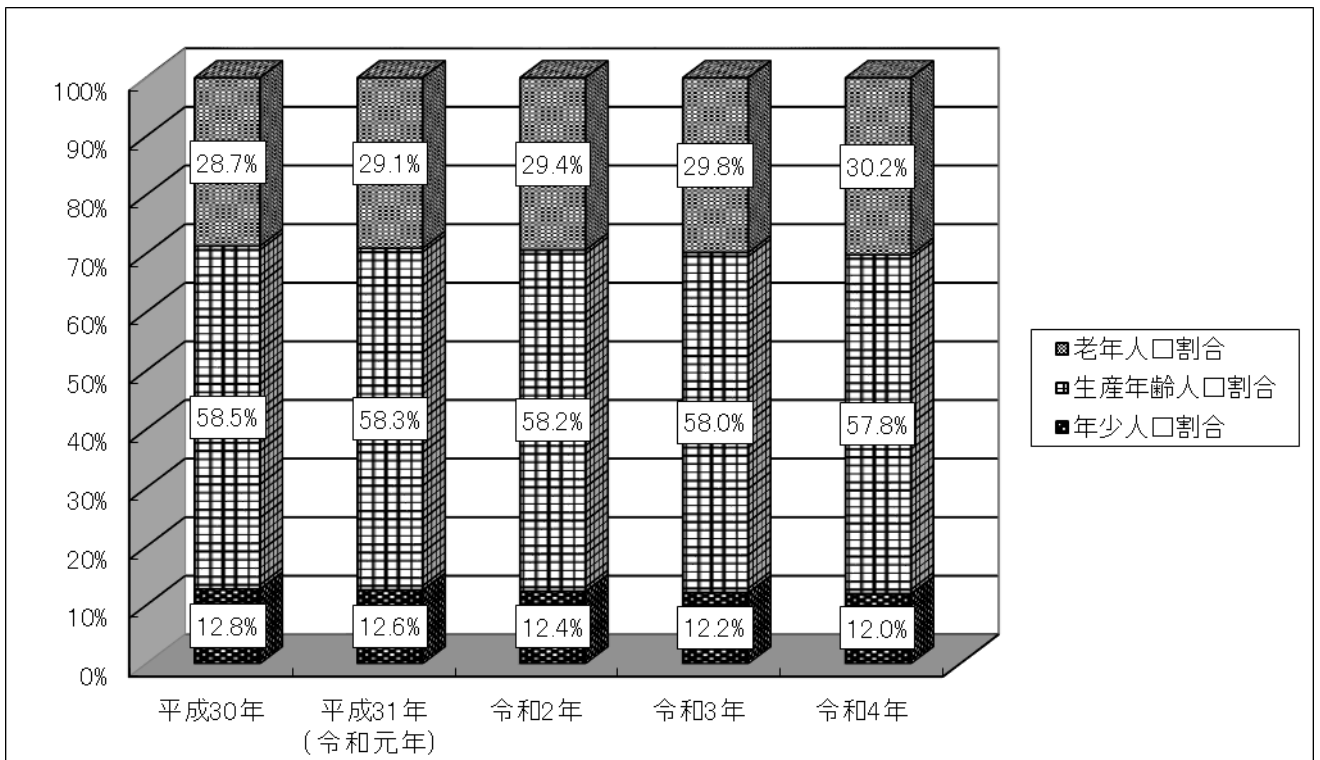
また、前年と比較すると、年少人口は1,010人、生産年齢人口は2,047人それぞれ減少し、老年人口は668人増加しました。

なお、年齢構成比を見ると、年少人口及び生産年齢人口が減少し老年人口が増加する、いわゆる少子高齢化の傾向が伺え、さらに、これは過去5年間とも共通しています。

表2:年齢3区分別人口

年次	年少人口(0～14歳)		生産年齢人口(15～64歳)		老年人口(65歳以上)	
	総数(人)	構成比(%)	総数(人)	構成比(%)	総数(人)	構成比(%)
平成30年	48,806	12.8	222,531	58.5	109,105	28.7
平成31年 (令和元年)	47,750	12.6	220,356	58.3	109,861	29.1
令和2年	46,645	12.4	218,707	58.2	110,459	29.4
令和3年	45,684	12.2	216,837	58.0	111,468	29.8
令和4年	44,674	12.0	214,790	57.8	112,136	30.2

[グラフ2] 年齢3区分別人口の構成比



2 年次別人口動態（概略）

(1) 令和3年の状況

本市の令和3年中の人口動態については、出生者数(2,466人)から死亡者数(4,359人)を引いた自然増減数が△1,893人となりました。

同様に、転入者数(10,325人)から転出者数(10,741人)を引いた社会増減数は、△416人となり、職権記載等によるその他増減数の△80人を加えると、年間増減数は△2,389人となりました。よって、人口増減率は△6.4%となりました。

表3:年次別人口動態(概略)

年次	1月1日 現在 総人口 (人)	年間増減数 (人) (A)+(B)+(C)	人口 増減率 (%)	自然動態			社会動態			その他 増減数 (人) (C)	合計特殊 出生率
				自然増減数(人)			社会増減数(人)				
				(A)	出生	死亡	(B)	転入	転出		
平成29年	381,957	△ 1,515	△ 4.0	△ 1,358	2,891	4,249	△ 81	11,116	11,197	△ 76	1.56
平成30年	380,442	△ 2,475	△ 6.5	△ 1,604	2,713	4,317	△ 604	10,845	11,449	△ 267	1.51
平成31年 (令和元年)	377,967	△ 2,156	△ 5.7	△ 1,700	2,647	4,347	△ 395	11,000	11,395	△ 61	1.55
令和2年	375,811	△ 1,822	△ 4.8	△ 1,670	2,537	4,207	△ 131	10,728	10,859	△ 21	1.41
令和3年	373,989	△ 2,389	△ 6.4	△ 1,893	2,466	4,359	△ 416	10,325	10,741	△ 80	...

(注) 令和3年の合計特殊出生率は、厚生労働省による人口動態調査結果公表後に算出となるため、翌年度公表

3 年次別人口動態（自然動態）

(1) 自然動態の内訳及び推移

令和3年の本市の出生者数は2,466人(男性1,295人、女性1,171人)、出生率は6.6%で、前年の2,537人(男性1,316人、女性1,221人)、出生率6.8%と比較して、出生者数は71人、出生率は0.2%それぞれ減少しました。

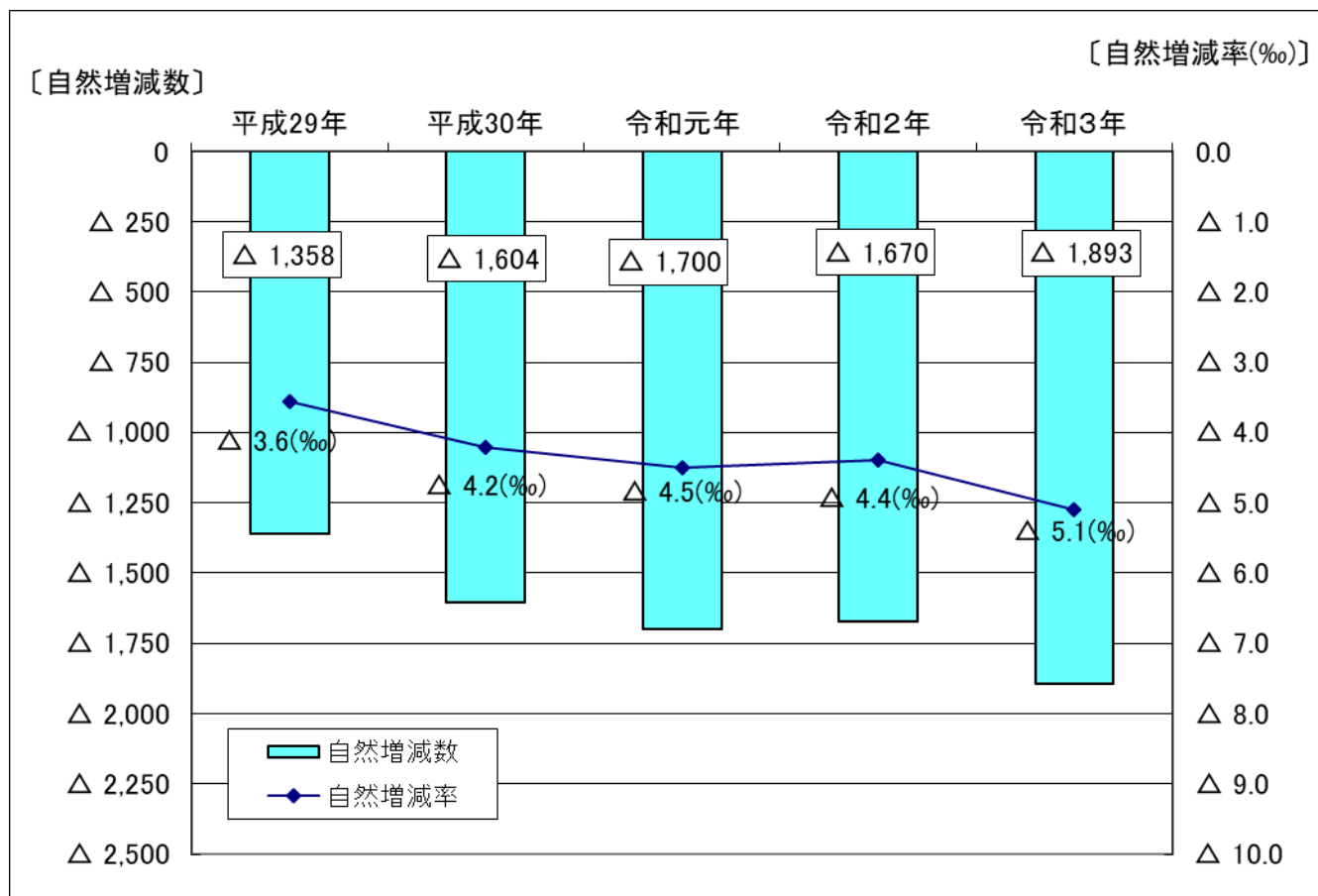
死亡者数は4,359人(男性2,089人、女性2,270人)、死亡率は11.7%で、前年の4,207人(男性2,105人、女性2,102人)、死亡率11.2%と比較して、死亡者数は152人、死亡率は0.5%それぞれ増加しました。

また、死亡者数が出生者数を大きく上回ったため、自然増減数は、△1,893人となり、自然増減率は△5.1%となりました。

表4:自然動態(出生・死亡)

年次	自然増減数(人)			出生(人)				死亡(人)				自然 増減率 (%)
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	出生率 (%)	総数	男性	女性	死亡率 (%)	
平成29年	△ 1,358	△ 693	△ 665	2,891	1,438	1,453	7.6	4,249	2,131	2,118	11.1	△ 3.6
平成30年	△ 1,604	△ 804	△ 800	2,713	1,363	1,350	7.1	4,317	2,167	2,150	11.3	△ 4.2
令和元年	△ 1,700	△ 787	△ 913	2,647	1,348	1,299	7.0	4,347	2,135	2,212	11.5	△ 4.5
令和2年	△ 1,670	△ 789	△ 881	2,537	1,316	1,221	6.8	4,207	2,105	2,102	11.2	△ 4.4
令和3年	△ 1,893	△ 794	△ 1,099	2,466	1,295	1,171	6.6	4,359	2,089	2,270	11.7	△ 5.1

[グラフ3] 自然動態の推移



4 年次別人口動態 (社会動態)

(1) 社会動態の内訳及び推移

① 転入及び転出の状況

令和3年の本市の転入者数は10,325人(男性5,710人、女性4,615人)、転入率は27.6%で前年の10,728人(男性5,939人、女性4,789人)、転入率28.5%と比較して、転入者数は403人、転入率は0.9%それぞれ減少しました。

同様に、転出者数は10,741人(男性5,940人、女性4,801人)、転出率は28.7%で、前年の10,859人(男性6,001人、女性4,858人)、転出率28.9%と比較して、転出者数は118人、転出率は0.2%それぞれ減少しました。

表5: 社会動態(転入・転出)

年次	転入 (人)			転入率 (%)	転出 (人)			転出率 (%)
	総数	男性	女性		総数	男性	女性	
平成29年	11,116	6,013	5,103	29.1	11,197	6,140	5,057	29.3
平成30年	10,845	5,925	4,920	28.5	11,449	6,137	5,312	30.1
令和元年	11,000	6,079	4,921	29.1	11,395	6,109	5,286	30.1
令和2年	10,728	5,939	4,789	28.5	10,859	6,001	4,858	28.9
令和3年	10,325	5,710	4,615	27.6	10,741	5,940	4,801	28.7

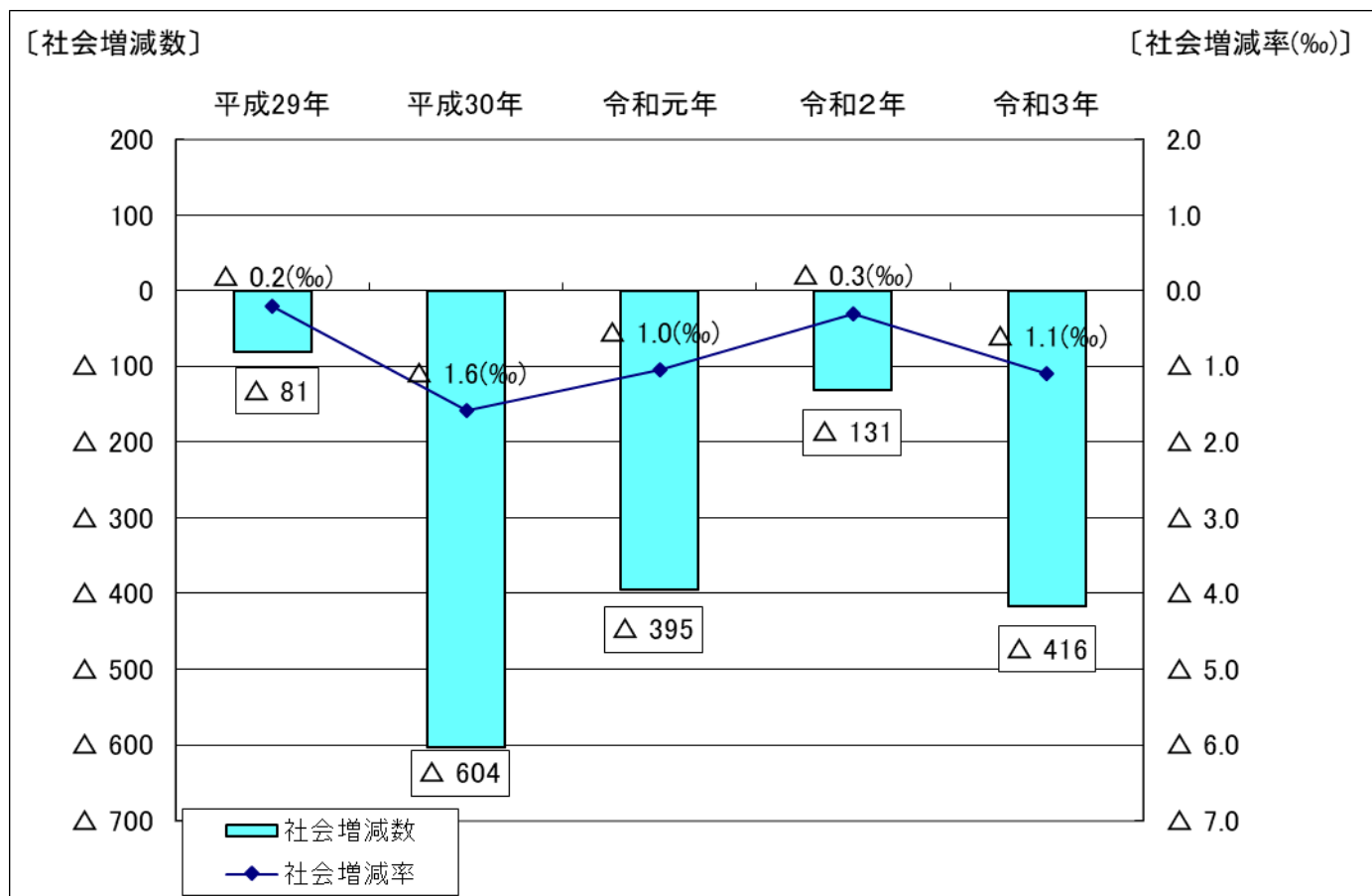
② 社会増減

令和3年の本市の社会増減数は△416人で、社会増減率は△1.1‰となり、転出者数が転入者数を上回る結果となりました。

表6:社会増減

年次	社会増減数(人)			転入(人)			転出(人)			社会増減率(‰)
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性	
平成29年	△ 81	△ 127	46	11,116	6,013	5,103	11,197	6,140	5,057	△ 0.2
平成30年	△ 604	△ 212	△ 392	10,845	5,925	4,920	11,449	6,137	5,312	△ 1.6
令和元年	△ 395	△ 30	△ 365	11,000	6,079	4,921	11,395	6,109	5,286	△ 1.0
令和2年	△ 131	△ 62	△ 69	10,728	5,939	4,789	10,859	6,001	4,858	△ 0.3
令和3年	△ 416	△ 230	△ 186	10,325	5,710	4,615	10,741	5,940	4,801	△ 1.1

[グラフ4] 社会動態の推移



(2) 人口移動の傾向

① 県内外の転入及び転出

令和3年中の転入に関しては、転入者総数 10,325 人(男性 5,710 人、女性 4,615 人)のうち、県内からの転入者が 4,623 人(男性 2,412 人、女性 2,211 人)で、県外からの転入者は 5,702 人(男性 3,298 人、女性 2,404 人)となり、県外からの転入者が県内からの転入者より 1,079 人上回っています。

同様に、転出に関しては、転出者総数 10,741 人(男性 5,940 人、女性 4,801 人)のうち、県内への転出者が 4,505 人(男性 2,384 人、女性 2,121 人)で、県外への転出者は 6,236 人(男性 3,556 人、女性 2,680 人)となり、県外への転出者が県内への転出者より 1,731 人上回っています。

また、転出入に伴う増減(転入－転出)について、県内は、118 人(男性 28 人、女性 90 人)の増加ですが、県外は、534 人(男性 258 人、女性 276 人)の減少でした。よって、県外への転出者が多いというのが、本市の人口移動の傾向となります。

表7:社会動態(転入内訳)

年次	転入(人)								
	総数	男性	女性	県内			県外		
				総数	男性	女性	総数	男性	女性
平成29年	11,116	6,013	5,103	5,040	2,568	2,472	6,076	3,445	2,631
平成30年	10,845	5,925	4,920	4,899	2,525	2,374	5,946	3,400	2,546
令和元年	11,000	6,079	4,921	5,013	2,631	2,382	5,987	3,448	2,539
令和2年	10,728	5,939	4,789	4,877	2,550	2,327	5,851	3,389	2,462
令和3年	10,325	5,710	4,615	4,623	2,412	2,211	5,702	3,298	2,404

表8:社会動態(転出内訳)

年次	転出(人)								
	総数	男性	女性	県内			県外		
				総数	男性	女性	総数	男性	女性
平成29年	11,197	6,140	5,057	4,713	2,531	2,182	6,484	3,609	2,875
平成30年	11,449	6,137	5,312	4,858	2,514	2,344	6,591	3,623	2,968
令和元年	11,395	6,109	5,286	4,598	2,380	2,218	6,797	3,729	3,068
令和2年	10,859	6,001	4,858	4,604	2,451	2,153	6,255	3,550	2,705
令和3年	10,741	5,940	4,801	4,505	2,384	2,121	6,236	3,556	2,680

表9:人口移動の傾向(県内)

相手方 (市 郡)	増減(転入－転出)(人)			転 入(人)			転 出(人)		
	総 数	男性	女性	総 数	男性	女性	総 数	男性	女性
北 信	△ 218	△ 122	△ 96	1,650	798	852	1,868	920	948
須坂市	△ 70	△ 33	△ 37	399	198	201	469	231	238
中野市	36	10	26	273	132	141	237	122	115
飯山市	38	16	22	121	60	61	83	44	39
千曲市	△ 230	△ 99	△ 131	402	191	211	632	290	342
埴科郡	3	7	△ 4	50	30	20	47	23	24
上高井郡	△ 44	△ 29	△ 15	102	40	62	146	69	77
下高井郡	13	△ 1	14	92	48	44	79	49	30
上水内郡	36	7	29	208	98	110	172	91	81
下水内郡	0	0	0	3	1	2	3	1	2
東 信	6	△ 16	22	885	475	410	879	491	388
上田市	△ 10	△ 17	7	398	207	191	408	224	184
小諸市	△ 1	△ 5	4	76	29	47	77	34	43
佐久市	32	12	20	259	151	108	227	139	88
東御市	△ 1	9	△ 10	46	35	11	47	26	21
南佐久郡	1	△ 4	5	33	17	16	32	21	11
北佐久郡	△ 9	△ 6	△ 3	67	34	33	76	40	36
小県郡	△ 6	△ 5	△ 1	6	2	4	12	7	5
中 信	186	110	76	1,316	713	603	1,130	603	527
松本市	73	48	25	799	447	352	726	399	327
大町市	14	14	0	59	32	27	45	18	27
塩尻市	32	15	17	148	82	66	116	67	49
安曇野市	23	6	17	173	85	88	150	79	71
木曾郡	7	8	△ 1	30	17	13	23	9	14
東筑摩郡	3	0	3	27	12	15	24	12	12
北安曇郡	34	19	15	80	38	42	46	19	27
南 信	144	56	88	772	426	346	628	370	258
岡谷市	23	9	14	74	42	32	51	33	18
飯田市	△ 8	△ 3	△ 5	145	82	63	153	85	68
諏訪市	66	34	32	147	80	67	81	46	35
伊那市	20	2	18	114	59	55	94	57	37
駒ヶ根市	△ 2	△ 1	△ 1	42	26	16	44	27	17
茅野市	△ 2	△ 9	7	72	37	35	74	46	28
諏訪郡	13	1	12	41	17	24	28	16	12
上伊那郡	23	13	10	97	55	42	74	42	32
下伊那郡	11	10	1	40	28	12	29	18	11
総 数	118	28	90	4,623	2,412	2,211	4,505	2,384	2,121

表 10: 人口移動の傾向(県外)

相手方 (都道府県)		増減(転入-転出)(人)			転入(人)			転出(人)		
		総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
北海道	北海道	18	10	8	108	67	41	90	57	33
東北		△ 4	5	△ 9	222	140	82	226	135	91
	青森県	10	11	△ 1	25	18	7	15	7	8
	岩手県	5	0	5	24	16	8	19	16	3
	宮城県	△ 23	△ 11	△ 12	84	54	30	107	65	42
	秋田県	△ 16	△ 10	△ 6	9	4	5	25	14	11
	山形県	16	10	6	35	21	14	19	11	8
	福島県	4	5	△ 1	45	27	18	41	22	19
関東		△ 416	△ 145	△ 271	3,264	1,871	1,393	3,680	2,016	1,664
	茨城県	△ 21	△ 29	8	120	62	58	141	91	50
	栃木県	24	23	1	102	63	39	78	40	38
	群馬県	△ 63	△ 39	△ 24	188	112	76	251	151	100
	埼玉県	△ 89	△ 40	△ 49	560	331	229	649	371	278
	千葉県	△ 28	△ 11	△ 17	303	178	125	331	189	142
	東京都	△ 215	△ 26	△ 189	1,299	742	557	1,514	768	746
	神奈川県	△ 8	△ 13	5	575	310	265	583	323	260
	山梨県	△ 16	△ 10	△ 6	117	73	44	133	83	50
北陸		21	△ 4	25	606	348	258	585	352	233
	新潟県	28	9	19	350	196	154	322	187	135
	富山県	3	△ 10	13	108	54	54	105	64	41
	石川県	△ 16	△ 5	△ 11	114	80	34	130	85	45
	福井県	6	2	4	34	18	16	28	16	12
東海		△ 52	△ 39	△ 13	568	333	235	620	372	248
	岐阜県	△ 19	△ 14	△ 5	61	33	28	80	47	33
	静岡県	15	17	△ 2	140	85	55	125	68	57
	愛知県	△ 48	△ 45	△ 3	319	184	135	367	229	138
	三重県	0	3	△ 3	48	31	17	48	28	20
近畿		△ 39	△ 38	△ 1	390	225	165	429	263	166
	滋賀県	8	4	4	35	24	11	27	20	7
	京都府	△ 7	△ 3	△ 4	74	47	27	81	50	31
	大阪府	△ 22	△ 22	0	168	90	78	190	112	78
	兵庫県	△ 18	△ 16	△ 2	68	40	28	86	56	30
	奈良県	△ 8	△ 2	△ 6	28	17	11	36	19	17
	和歌山県	8	1	7	17	7	10	9	6	3
中国		△ 38	△ 16	△ 22	82	54	28	120	70	50
	鳥取県	△ 9	△ 3	△ 6	9	6	3	18	9	9
	島根県	△ 4	△ 1	△ 3	7	6	1	11	7	4
	岡山県	△ 4	0	△ 4	27	17	10	31	17	14
	広島県	△ 12	△ 9	△ 3	29	17	12	41	26	15
	山口県	△ 9	△ 3	△ 6	10	8	2	19	11	8
四国		△ 7	0	△ 7	55	37	18	62	37	25
	徳島県	3	2	1	8	5	3	5	3	2
	香川県	△ 4	0	△ 4	14	11	3	18	11	7
	愛媛県	△ 9	△ 3	△ 6	22	15	7	31	18	13
	高知県	3	1	2	11	6	5	8	5	3

表 10 のつづき

相手方 (都道府県)	増減(転入－転出)(人)			転入(人)			転出(人)			
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性	
九州	△ 11	△ 8	△ 3	144	84	60	155	92	63	
福岡県	13	6	7	71	46	25	58	40	18	
佐賀県	△ 4	△ 5	1	2	-	2	6	5	1	
長崎県	0	△ 4	4	17	9	8	17	13	4	
熊本県	△ 5	0	△ 5	12	5	7	17	5	12	
大分県	△ 7	△ 2	△ 5	11	9	2	18	11	7	
宮崎県	△ 3	△ 2	△ 1	12	6	6	15	8	7	
鹿児島県	△ 5	△ 1	△ 4	19	9	10	24	10	14	
沖縄	沖縄県	△ 9	△ 3	△ 6	32	20	12	41	23	18
その他	国外	3	△ 20	23	231	119	112	228	139	89
総数	△ 534	△ 258	△ 276	5,702	3,298	2,404	6,236	3,556	2,680	

② 年齢(5歳階級)別移動者

年齢(5歳階級)別移動者数のうち、転入者数は、1位:25～29歳、2位:20～24歳、3位:30～34歳の区分となりました。転出者数は、1位:20～24歳、2位:25～29歳、3位:30～34歳の区分となりました。

また、転入から転出を引いた増減数では、最も増加したのが30～34歳で、逆に、最も減少したのは20～24歳の区分でした。

表 11:年齢(5歳階級)別移動者数

年齢区分	増減(転入－転出)(人)			転入(人)			転出(人)		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
0～4歳	18	0	18	678	335	343	660	335	325
5～9	△ 35	△ 12	△ 23	294	160	134	329	172	157
10～14	△ 24	△ 29	5	161	72	89	185	101	84
15～19	△ 223	△ 101	△ 122	408	237	171	631	338	293
20～24	△ 413	△ 156	△ 257	1,870	1,062	808	2,283	1,218	1,065
25～29	△ 25	△ 57	32	1,953	1,049	904	1,978	1,106	872
30～34	148	88	60	1,351	749	602	1,203	661	542
35～39	22	4	18	926	528	398	904	524	380
40～44	9	13	△ 4	652	384	268	643	371	272
45～49	19	△ 3	22	562	331	231	543	334	209
50～54	△ 4	5	△ 9	442	286	156	446	281	165
55～59	31	31	0	336	210	126	305	179	126
60～64	△ 15	△ 22	7	184	110	74	199	132	67
65～69	13	18	△ 5	133	81	52	120	63	57
70～74	△ 14	△ 8	△ 6	93	43	50	107	51	56
75～79	21	3	18	74	28	46	53	25	28
80歳以上	56	△ 4	60	208	45	163	152	49	103
総数	△ 416	△ 230	△ 186	10,325	5,710	4,615	10,741	5,940	4,801

③ その他増減

自然動態、社会動態とは別とする、その他の人口増減(主なもの:職権記載・職権回復・職権消除)について令和3年中の増減数は△80人で、前年数(△21人)と比べ59人の減少となりました。

表 12: その他増減

年次	増減(人) (増数-減数)	増数(人)	減数(人)
平成29年	△76	1,263	1,339
平成30年	△267	1,120	1,387
令和元年	△61	342	403
令和2年	△21	294	315
令和3年	△80	476	556

5 地区別の概況

(1) 人口及び世帯

① 人口増減数

令和4年1月1日現在の前年との比較による地区別人口増減数は、下記表のとおりです。

表 13: 地区別人口増減数

地区名	増減(R4-R3)(人)			令和4年1月1日人口(人)			令和3年1月1日人口(人)		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
長野管内	△1,069	△462	△607	217,578	105,226	112,352	218,647	105,688	112,959
第一	△72	△14	△58	5,537	2,735	2,802	5,609	2,749	2,860
第二	△131	△54	△77	11,542	5,436	6,106	11,673	5,490	6,183
第三	△25	△16	△9	6,633	3,040	3,593	6,658	3,056	3,602
第四	△43	△19	△24	2,700	1,221	1,479	2,743	1,240	1,503
第五	120	39	81	4,611	2,257	2,354	4,491	2,218	2,273
芹田	△69	17	△86	26,944	13,443	13,501	27,013	13,426	13,587
古牧	△173	△87	△86	26,688	13,159	13,529	26,861	13,246	13,615
三輪	△124	△61	△63	16,108	7,466	8,642	16,232	7,527	8,705
吉田	46	11	35	16,919	8,023	8,896	16,873	8,012	8,861
古里	△94	△33	△61	13,363	6,480	6,883	13,457	6,513	6,944
柳原	14	28	△14	6,783	3,296	3,487	6,769	3,268	3,501
浅川	△63	△18	△45	6,533	3,134	3,399	6,596	3,152	3,444
大豆島	△59	△12	△47	12,606	6,251	6,355	12,665	6,263	6,402
朝陽	△9	△21	12	15,119	7,368	7,751	15,128	7,389	7,739
若槻	△49	△53	4	20,152	9,710	10,442	20,201	9,763	10,438
長沼	△52	△24	△28	1,989	957	1,032	2,041	981	1,060
安茂里	△209	△110	△99	20,535	9,860	10,675	20,744	9,970	10,774
小田切	△24	△17	△7	818	413	405	842	430	412
芋井	△53	△18	△35	1,998	977	1,021	2,051	995	1,056

表 13 のつづき

地 区 名	増 減 (R4 - R3) (人)			令和 4 年1月1日人口(人)			令和 3 年1月1日人口(人)		
	総 数	男 性	女 性	総 数	男 性	女 性	総 数	男 性	女 性
篠ノ井管内	△ 279	△ 104	△ 175	41,188	19,895	21,293	41,467	19,999	21,468
篠ノ井	△ 3	17	△ 20	20,587	9,981	10,606	20,590	9,964	10,626
塩崎	△ 100	△ 53	△ 47	5,298	2,567	2,731	5,398	2,620	2,778
共和	△ 56	△ 21	△ 35	3,528	1,689	1,839	3,584	1,710	1,874
川柳	△ 83	△ 32	△ 51	3,911	1,830	2,081	3,994	1,862	2,132
東福寺	△ 36	△ 20	△ 16	3,399	1,655	1,744	3,435	1,675	1,760
西寺尾	12	13	△ 1	3,341	1,648	1,693	3,329	1,635	1,694
信里	△ 13	△ 8	△ 5	1,124	525	599	1,137	533	604
松代管内	△ 113	△ 55	△ 58	16,759	8,175	8,584	16,872	8,230	8,642
松代	33	33	0	5,056	2,405	2,651	5,023	2,372	2,651
清野	△ 20	△ 7	△ 13	1,229	597	632	1,249	604	645
西条	△ 78	△ 58	△ 20	1,573	793	780	1,651	851	800
豊栄	△ 29	△ 22	△ 7	1,471	743	728	1,500	765	735
東条	15	0	15	3,988	1,937	2,051	3,973	1,937	2,036
寺尾	△ 38	△ 9	△ 29	2,954	1,471	1,483	2,992	1,480	1,512
西寺尾	4	8	△ 4	488	229	259	484	221	263
若穂管内	△ 125	△ 63	△ 62	11,862	5,834	6,028	11,987	5,897	6,090
綿内	△ 74	△ 42	△ 32	6,069	2,964	3,105	6,143	3,006	3,137
川田	△ 4	△ 6	2	2,861	1,393	1,468	2,865	1,399	1,466
保科	△ 47	△ 15	△ 32	2,932	1,477	1,455	2,979	1,492	1,487
川中島管内	△ 235	△ 123	△ 112	27,317	13,241	14,076	27,552	13,364	14,188
中津	△ 118	△ 63	△ 55	10,829	5,244	5,585	10,947	5,307	5,640
御厨	△ 54	△ 34	△ 20	4,661	2,241	2,420	4,715	2,275	2,440
川中島	△ 63	△ 26	△ 37	11,827	5,756	6,071	11,890	5,782	6,108
更北管内	△ 76	△ 54	△ 22	33,930	16,796	17,134	34,006	16,850	17,156
青木島	28	13	15	16,503	8,166	8,337	16,475	8,153	8,322
真島	△ 74	△ 47	△ 27	2,404	1,182	1,222	2,478	1,229	1,249
小島田	12	△ 2	14	2,321	1,133	1,188	2,309	1,135	1,174
稲里	△ 42	△ 18	△ 24	12,702	6,315	6,387	12,744	6,333	6,411
七二会管内	△ 39	△ 22	△ 17	1,397	657	740	1,436	679	757
七二会	△ 39	△ 22	△ 17	1,397	657	740	1,436	679	757
信更管内	△ 65	△ 24	△ 41	1,800	905	895	1,865	929	936
信田	△ 48	△ 20	△ 28	974	491	483	1,022	511	511
更府	△ 17	△ 4	△ 13	826	414	412	843	418	425
豊野管内	△ 73	△ 38	△ 35	9,291	4,520	4,771	9,364	4,558	4,806
豊野	△ 73	△ 38	△ 35	9,291	4,520	4,771	9,364	4,558	4,806
戸隠管内	△ 76	△ 29	△ 47	3,220	1,579	1,641	3,296	1,608	1,688
戸隠	△ 76	△ 29	△ 47	3,220	1,579	1,641	3,296	1,608	1,688
鬼無里管内	△ 51	△ 18	△ 33	1,194	555	639	1,245	573	672
鬼無里	△ 51	△ 18	△ 33	1,194	555	639	1,245	573	672
大岡管内	△ 21	△ 15	△ 6	856	426	430	877	441	436
大岡	△ 21	△ 15	△ 6	856	426	430	877	441	436
信州新町管内	△ 109	△ 54	△ 55	3,626	1,735	1,891	3,735	1,789	1,946
信州新町	△ 109	△ 54	△ 55	3,626	1,735	1,891	3,735	1,789	1,946
中条管内	△ 58	△ 28	△ 30	1,582	744	838	1,640	772	868
中条	△ 58	△ 28	△ 30	1,582	744	838	1,640	772	868
長野市総計	△ 2,389	△ 1,089	△ 1,300	371,600	180,288	191,312	373,989	181,377	192,612

② 世帯増減数

令和4年1月1日現在の前年との比較による地区別世帯増減数は、下記表のとおりです。

表 14:地区別世帯増減数

地区名	増減(世帯) (R4-R3)	令和4年 世帯数(世帯)	令和3年 世帯数(世帯)
長野管内	485	99,050	98,565
第一	△ 14	2,813	2,827
第二	△ 17	5,455	5,472
第三	35	3,648	3,613
第四	4	1,430	1,426
第五	60	2,489	2,429
芹田	140	13,288	13,148
古牧	66	11,730	11,664
三輪	△ 4	7,895	7,899
吉田	81	7,455	7,374
古里	2	5,595	5,593
柳原	47	2,873	2,826
浅川	△ 4	2,788	2,792
大豆島	17	5,278	5,261
朝陽	28	6,403	6,375
若槻	75	8,577	8,502
長沼	△ 16	799	815
安茂里	△ 6	9,168	9,174
小田切	△ 11	420	431
芋井	2	946	944
篠ノ井管内	71	16,961	16,890
篠ノ井	93	8,553	8,460
塩崎	△ 22	2,113	2,135
共和	△ 14	1,438	1,452
川柳	△ 12	1,694	1,706
東福寺	9	1,461	1,452
西寺尾	14	1,208	1,194
信里	3	494	491
松代管内	8	7,054	7,046
松代	32	2,091	2,059
清野	3	521	518
西条	△ 38	721	759
豊栄	△ 3	595	598
東条	27	1,688	1,661
寺尾	△ 13	1,217	1,230
西寺尾	0	221	221

表 14 のつづき

地 区 名	増 減 (世帯) (R4-R3)	令和 4 年 世帯数 (世帯)	令和 3 年 世帯数 (世帯)
若穂管内	△ 5	4,608	4,613
綿内	△ 4	2,311	2,315
川田	12	1,088	1,076
保科	△ 13	1,209	1,222
川中島管内	32	11,074	11,042
中津	△ 16	4,457	4,473
御厨	24	1,892	1,868
川中島	24	4,725	4,701
更北管内	154	14,197	14,043
青木島	96	7,151	7,055
真島	△ 18	971	989
小島田	23	846	823
稲里	53	5,229	5,176
七二会管内	2	713	711
七二会	2	713	711
信更管内	△ 18	866	884
信田	△ 15	465	480
更府	△ 3	401	404
豊野管内	25	3,679	3,654
豊野	25	3,679	3,654
戸隠管内	△ 2	1,445	1,447
戸隠	△ 2	1,445	1,447
鬼無里管内	△ 3	610	613
鬼無里	△ 3	610	613
大岡管内	△ 9	493	502
大岡	△ 9	493	502
信州新町管内	△ 28	1,756	1,784
信州新町	△ 28	1,756	1,784
中条管内	△ 7	794	801
中条	△ 7	794	801
長野市総計	705	163,300	162,595

(2) 自然動態

令和3年中における地区別自然増減数は、下記表のとおりです。

表 15:地区別自然増減数

地区名	自然増減数(人) (出生－死亡)	出生(人)	死亡(人)
長野管内	△ 905	1,525	2,430
第一	△ 82	23	105
第二	△ 90	50	140
第三	△ 52	50	102
第四	△ 34	11	45
第五	△ 4	40	44
芹田	△ 67	207	274
古牧	22	256	234
三輪	△ 139	84	223
吉田	△ 40	119	159
古里	△ 12	120	132
柳原	△ 38	38	76
浅川	△ 56	23	79
大豆島	6	113	107
朝陽	△ 30	112	142
若槻	△ 120	125	245
長沼	△ 28	6	34
安茂里	△ 87	144	231
小田切	△ 19	1	20
芋井	△ 35	3	38
篠ノ井管内	△ 203	263	466
篠ノ井	△ 40	160	200
塩崎	△ 43	24	67
共和	△ 27	14	41
川柳	△ 20	27	47
東福寺	△ 50	11	61
西寺尾	△ 8	24	32
信里	△ 15	3	18
松代管内	△ 198	63	261
松代	△ 41	25	66
清野	△ 17	1	18
西条	△ 17	8	25
豊栄	△ 10	7	17
東条	△ 65	9	74
寺尾	△ 35	11	46
西寺尾	△ 13	2	15
若穂管内	△ 109	50	159
綿内	△ 45	28	73
川田	△ 31	10	41
保科	△ 33	12	45
川中島管内	△ 52	205	257
中津	△ 10	98	108
御厨	△ 14	24	38
川中島	△ 28	83	111

表 15 のつづき

地 区 名	自然増減数(人) (出生－死亡)	出 生(人)	死 亡(人)
更北管内	△ 52	271	323
青木島	△ 5	132	137
真島	△ 34	10	44
小島田	△ 19	13	32
稲里	6	116	110
七二会管内	△ 34	4	38
七二会	△ 34	4	38
信更管内	△ 49	5	54
信田	△ 30	2	32
更府	△ 19	3	22
豊野管内	△ 58	56	114
豊野	△ 58	56	114
戸隠管内	△ 63	12	75
戸隠	△ 63	12	75
鬼無里管内	△ 31	1	32
鬼無里	△ 31	1	32
大岡管内	△ 18	1	19
大岡	△ 18	1	19
信州新町管内	△ 86	9	95
信州新町	△ 86	9	95
中条管内	△ 35	1	36
中条	△ 35	1	36
長野市総計	△ 1,893	2,466	4,359

(3) 社会動態

令和3年中における地区別社会増減数は、下記表のとおりです。

表 16:地区別社会増減数

地区名	社会増減数(人) (転入－転出)	転入(人)	転出(人)
長野管内	16	7,199	7,183
第一	21	227	206
第二	△ 25	316	341
第三	63	373	310
第四	21	127	106
第五	8	291	283
芹田	93	1,511	1,418
古牧	△ 136	872	1,008
三輪	3	561	558
吉田	36	479	443
古里	△ 45	256	301
柳原	32	170	138
浅川	△ 30	71	101
大豆島	△ 30	370	400
朝陽	6	428	422
若槻	28	494	466
長沼	4	39	35
安茂里	△ 26	551	577
小田切	3	8	5
茅井	△ 10	55	65
篠ノ井管内	△ 201	747	948
篠ノ井	△ 75	467	542
塩崎	△ 36	58	94
共和	△ 33	29	62
川柳	△ 33	95	128
東福寺	△ 5	42	47
西寺尾	△ 25	46	71
信里	6	10	4
松代管内	14	441	427
松代	22	103	81
清野	4	14	10
西条	△ 47	136	183
豊栄	2	24	22
東条	25	85	60
寺尾	2	67	65
西寺尾	6	12	6
若穂管内	△ 16	157	173
綿内	△ 30	76	106
川田	18	44	26
保科	△ 4	37	41
川中島管内	△ 153	641	794
中津	△ 93	306	399
御厨	△ 25	79	104
川中島	△ 35	256	291

表 16 のつづき

地 区 名	社会増減数(人) (転入－転出)	転 入(人)	転 出(人)
更北管内	△ 13	787	800
青木島	52	463	411
真島	△ 22	17	39
小島田	△ 2	14	16
稲里	△ 41	293	334
七二会管内	△ 9	12	21
七二会	△ 9	12	21
信更管内	△ 4	25	29
信田	△ 4	15	19
更府	0	10	10
豊野管内	△ 33	184	217
豊野	△ 33	184	217
戸隠管内	△ 2	31	33
戸隠	△ 2	31	33
鬼無里管内	△ 5	17	22
鬼無里	△ 5	17	22
大岡管内	0	29	29
大岡	0	29	29
信州新町管内	5	41	36
信州新町	5	41	36
中条管内	△ 15	14	29
中条	△ 15	14	29
長野市総計	△ 416	10,325	10,741

参考（関係法令）

□戸籍法（抜粋）

第2節 出生

第49条 出生の届出は、14日以内（国外で出生があつたときは、3箇月以内）にこれをしなければならない。

2 届書には、次の事項を記載しなければならない。

1. 子の男女の別及び嫡出子又は嫡出でない子の別
2. 出生の年月日時分及び場所
3. 父母の氏名及び本籍、父又は母が外国人であるときは、その氏名及び国籍
4. その他法務省令で定める事項

3 医師、助産師又はその他の者が出産に立ち会つた場合には、医師、助産師、その他の者の順序に従つてそのうちの1人が法務省令・厚生労働省令の定めるところによつて作成する出生証明書を届書に添付しなければならない。ただし、やむを得ない事由があるときは、この限りでない。

第9節 死亡及び失踪

第86条 死亡の届出は、届出義務者が、死亡の事実を知つた日から7日以内（国外で死亡があつたときは、その事実を知つた日から3箇月以内）に、これをしなければならない。

2 届書には、次の事項を記載し、診断書又は検案書を添付しなければならない。

1. 死亡の年月日時分及び場所
2. その他法務省令で定める事項

3 やむを得ない事由によつて診断書又は検案書を得ることができないときは、死亡の事実を証すべき書面を以てこれに代えることができる。この場合には、届書に診断書又は検案書を得ることができない事由を記載しなければならない。

□住民基本台帳法（抜粋）

住民票の記載等のための市町村長間の通知

第9条 市町村長は、他の市町村から当該市町村の区域内に住所を変更した者につき住民票の記載をしたときは、遅滞なく、その旨を当該他の市町村の市町村長に通知しなければならない。

2 市町村長は、その市町村の住民以外の者について戸籍に関する届書、申請書その他の書類を受理し、又は職権で戸籍の記載若しくは記録をした場合において、その者の住所地で住民票の記載等をすべきときは、遅滞なく、当該記載等をすべき事項をその住所地の市町村長に通知しなければならない。

3 第1項の規定による通知は、総務省令で定めるところにより、市町村長の使用に係る電子計算機（入出力装置を含む。以下同じ。）から電気通信回線を通じて相手方である他の市町村の市町村長の使用に係る電子計算機に送信することによつて行うものとする。ただし、総務省令で定める場合にあつては、この限りでない。

転入届

第22条 転入（新たに市町村の区域内に住所を定めることをいい、出生による場合を除く。以下この条において同じ。）をした者は、転入をした日から14日以内に、次に掲げる事項（いずれの市町村においても住民基本台帳に記録されることがない者にあつては、第1号から第5号まで及び第7号に掲げる事項）を市町村長に届け出なければならない。

1. 氏名
2. 住所
3. 転入をした年月日
4. 従前の住所
5. 世帯主についてはその旨、世帯主でない者については世帯主の氏名及び世帯主との続柄
6. 転入前の住民票コード（転入をした者につき直前に住民票の記載をした市町村長が、当該住民票に直前に記載した住民票コードをいう。）

7. 国外から転入をした者その他政令で定める者については、前各号に掲げる事項のほか政令で定める事項

2 前項の規定による届出をする者（同項第7号の者を除く。）は、住所の異動に関する文書で政令で定めるものを添えて、同項の届出をしなければならない。

転出届

第24条 転出（市町村の区域外へ住所を移すことをいう。以下同じ。）をする者は、あらかじめ、その氏名、転出先及び転出の予定年月日を市町村長に届け出なければならない。

令和4年2月発行

〒380-0835 長野市大字南長野新田町1485番地1

長野市企画政策部企画課統計担当

代表 026-226-4911（内線8313、8314）

直通 026-229-6234